

S I P 第 3 期「スマートモビリティプラットフォームの構築」 社会実装に向けた戦略及び研究開発計画の変更について

令和 6 年 10 月 31 日
スマートモビリティプラットフォームの構築
プログラム ディレクター 石田 東生

今般、「スマートモビリティプラットフォームの構築」においては、社会実装の実現を目指すアウトプット・エグジット戦略の明確化、より効率的・効果的な研究開発の推進等のため、社会実装に向けた戦略及び研究開発計画の変更を行いたい。主な変更内容は以下のとおり。

(本内容は、第 122 回ガバニングボード（令和 6 年 8 月 29 日）において、SIP 第 3 期課題進捗状況報告（意見交換）で報告した内容を、社会実装に向けた戦略及び研究開発計画に反映したものの。)

1. II. 社会実装に向けた戦略

令和 5 年度ピアレビュー・年度末評価におけるアウトプットの具体化の必要性等の指摘に伴い、エンドユーザーを見据えた研究開発の統合化を行い、サブ課題構成の見直し、およびサブ課題ごとのアウトプット・エグジット戦略の明確化を行うとともに、社会実装に向けた社会システム化のための技術の必要性を追記した。

2. III. 研究開発計画

サブ課題構成の見直しに伴い、研究テーマごとに研究開発目標・研究実施内容の具体化を行い、研究実施体制、研究開発に係る工程表を更新した。また、過年度の進捗、予算配分額の記載を更新した。

3. IV. 課題マネジメント・協力連携体制

課題マネジメント体制の更新に伴い、内閣府課題担当、サブ課題担当 PM 等の記載を更新した。

4. V. 評価に関わる事項

公開文章への記載に対する関係者の合意に伴い、ピアレビュー委員の氏名、役職等の記載を具体化した。

以上